

○論文

- ・越智楓,入汐弘美：当センターにおける免疫抑制剤（シクロスポリン・タクロリムス）測定法の検討（大阪府総医医誌 39（1）：19-23）
- ・高山智美、蔦原宏一、平瀬裕美、小林茜、久山芳文、岩田和友子、高尾徹也、山口誓司：WAKFlow HLA 抗体クラス I (HR)の反応性についての検討（日本臨床腎移植学会雑誌 4（2）：196-201）
- ・平瀬裕美、林富貴雄、小牧愛、藤田武、鳥井麻梨、今里明美：下肢静脈超音波検査による深部静脈血栓症の治療効果に関する検討（脈管学 VOL.57（2017）No.4：53-58）
- ・下山玲子、佐々木志保、西川京子、松井美智代、藤中浩樹、島津宏樹、伏見博彰：乳房部皮膚に発生した hidradenoma の 1 例（日本臨床細胞学会雑誌、55：170-173、2016）
〈2015 年〉
- ・四井昭二：当センターにおける B 型肝炎マーカー検査の現状～免疫抑制・化学療法により活性化する B 型肝炎対策に関連して～（第 38 卷大阪府立急性期・総合医療センター医学雑誌）
- ・小牧愛、林富貴雄、平瀬裕美、藤田武、鳥井麻梨、今里明美：下肢浮腫にて静脈エコーを施行した症例の検討（Vol.55 脈管学）
- ・高山智美、平瀬裕美、小林 茜：WAKFlow HLA 抗体クラス I（HR）の反応性についての検討（日本臨床腎移植学会雑誌第 4 卷）
- ・下山玲子、佐々木志保、西川京子、松井美智代、藤中浩樹、島津宏樹、伏見博彰：Alveolar rhabdomyosarcoma の 1 例—セルブロック併用の有用性ととも—to—（日本臨床細胞学会誌、54：41-46、2015）
- ・正木裕美子、入汐弘美、小倉眞紀、今西啓子、岡田倫之：当センター総合検査室における精度管理の現状—生化学検査項目を中心に—（大阪府総医医誌 37（1）：17-24）
- ・鈴木春菜、正木裕美子、大窪元子、四井昭二、小倉眞紀、今西啓子、岡田倫之：全自動血液凝固測定装置 CS-5100 におけるラテックステスト BL-2 P-FDP、リアスオート・D ダイマーネオおよび他 2 社の測定試薬の基礎性能評価（Sysmex Journal Web.online:7-Feb 2014 36：64-74）
- ・Haruna SUZUKI,Yumiko MASAKI,Motoko OKUBO,Shoji YOTUI,Maki OGURA,Keiko IMANISI and Noriyuki OKADA：A Comparative Study of Sysmex Latex Test BL-2 P-FDP and LIAS AUTO D-Dimer NEO with Similar Assay Reagents of Two Other Companies on Fully Automated Blood Coagulation Analyzer CS-5100.SysmexJournal International,online:25-Dec 2014(15:-,2014)
- ・藤中浩樹、西川京子、松井美智代、下山玲子、佐々木志保、島津宏樹、伏見博彰：セル・ブロック（ピペットオブラート法）が診断に有用であった腭 solid-pseudopapillary neoplasm の 1 例（日本臨床細胞学会雑誌、53：138-141、2014）
〈2013 年〉
- ・藤原守、松村郁子、尾代典子、久山芳文、今西啓子、岡田倫之：当センターにおける血液培養陽性菌の種類と傾向（大阪府総医医誌 36（1）33-38）
- ・田仲由佳、榎本圭佑、梶野絢子、長井美樹、武田和也、原田祥太郎、島津宏樹、今西啓子、伏見博彰、岡田倫之、他 1 名：前頭骨を含めた多発性骨転移を認めた微少浸潤型甲状腺濾胞癌の 1 例（日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌 30（3）：221-225 2013）

- ・榎野絢子、榎本圭佑、長井美樹、島津宏樹、武田和也、原田祥太郎、田仲由佳、松田忠司、今西啓子、伏見博彰、坂田義治、岡田倫之、他 1 名：当センターで治療経験した家族性髄様甲状腺癌症例の検討（日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌、30（4）：299-304、2013）
- ・松川知寿香、小林茜、岩田和友子、岡田倫之：当院で検出された Rh バリエーションの症例（大阪府総医医誌 36：97-100、2012）
- ・藤中浩樹、松井美智代、下山玲子、佐々木志保、西原和代、島津宏樹、伏見博彰：乳腺分泌癌の 2 例（日本臨床細胞学会雑誌、51：286-289、2012）
- ・西原和代、下山玲子、佐々木志保、藤中浩樹、松井美智代、島津宏樹、伏見博彰：ポリエチレン製の使い捨てピペットを利用した簡単なセルブロック作製法（ピペット・オブラート法）（日本臨床細胞学会雑誌、51：329-332、2012）
- ・今里明美、前川弘子、長濱泰子、山田直美、小原有加里、榎野絢子、今西啓子、岡田倫之、高野智子、田尻 仁：小児の感染性腸炎の診断における消化管エコーも有用性（大阪府総医医誌、34：29-34、2011）
- ・下山玲子、松井美智代、佐々木志保、藤中浩樹、西原和代、島津宏樹、伏見博彰：唾液腺導管癌の 1 例（大阪府総医医誌、33：73-78、2011）
- ・山中晃代、入汐弘美、今西啓子、岡田倫之：病棟：外来における血糖測定の現状と今後の課題（大阪府総医医誌、33：23-28、2010）
- ・松井美智代、下山玲子、佐々木志保、藤中浩樹、西原和代、島津宏樹、伏見博彰、青野豊一：乳腺悪性葉状腫瘍の 1 例（大阪府総医医誌、32：87-91、2010）
- ・前川弘子、小池朋子、中野豊、松本通子、松田忠司、西川洋子、岡田倫之、奥山祐司、山田貴久、福並正剛：アンジオテンシン II 受容体拮抗薬が心房遅延電位に及ぼす影響（大阪府総医医誌、32：26-29、2009）
- ・A.Yamasaki, Masao.Funahashi, etc :Overall noise characteristics of reduced images on liquid crystal display and advantages of independent subpixel driving technology. *Medical Physics*, 40 (2), pp 21901-1 – 21901-8, 2013
- ・Asumi Yamazaki, Chih-Lei Wu, Wei-Chung Cheng, and Aldo Badano, “Spatial resolution and noise in organic light-emitting diode displays for medical imaging applications,” *Optics Express*, 21 (23), pp 28111-28133, 2013
- ・Asumi Yamazaki, Peter Liu, Wei-Chung Cheng, and Aldo Badano, “Image quality characteristics of handheld display devices for medical imaging,” *Plos One* 8(11), pp e79243, 2013
- ・Asumi Yamazaki, Cecilia Marini-Bettolo, Yoshie Kodera, and Aldo Badano, “Sharpness and noise characteristics of a half-mirror stereoscopic display,” *Journal of the Society for Information Display*, accepted, 2014
- ・Masao.Funahashi, etc :Application of Pixel Truncation to Eliminate Streak Artifacts in Myocardial SPECT Imaging With ^{99m}Tc-Tetrofosmin. 2002, *Journal of Nuclear Cardiology*
- ・川本誠一、船橋正夫、伊藤正博、中 智章、米屋勇佑：先端的 IVR-CT の初療室導入により救急医療の要“速さと品質”を高め府民からの期待に応える。インナービジョン、27(5)．11-13、

2012.

- ・ 榎山和幸：線量指標（Exposure Index）の導入に向けて～EIt をどのように決定するか？～。日本放射線技術学会撮影分科会誌，59. 13-15，2012.
- ・ 船橋正夫：デジタル画像技術温故知新～FPD によるフルデジタル化時代に必要なこと～。インナービジョン，27(10). 7-10，2012.
- ・ 船橋正夫：デジタル X 線画像の画像処理。日本放射線技術学会画像分科会画像通信，33. 7-12，2011.
- ・ 船橋正夫：明日に架ける橋。日本放射線技術学会雑誌，67. 1-2，2011.
- ・ 船橋正夫：生命の光を技で紡ぐ。第 39 回日本放射線技術学会秋季学術大会雑誌。3-4，2011.
- ・ 榎山和幸，etc：大規模集団災害を想定した訓練での回診用 X 線撮影，島津 MEDICAL NOW，No. 70，2011
- ・ 榎山和幸，etc：Exposure Index (EI) の構築に向けて，和歌山県放射線技師学雑誌，No. 7，2013
- ・ 榎山和幸，etc：最新！救命救急放射線領域のテクニック－胸部の救命救急放射線技術(血管系)，映像情報メディカル，Vol. 45，No. 9，2013
- ・ 榎山和幸，etc：Primary Survey，Secondary Survey の一般撮影の現状と問題点，日本放射線技術学会放射線撮影部会誌 No. 64，7-9，2015
- ・ 榎山和幸，etc：ワイヤレスタイプ可搬型 FPD の技術的諸問題：FPD に用いられる技術と新しい画像処理，日本放射線技術学会放射線撮影部会誌 Vol. 73，No. 2，2017
- ・ 船橋正夫，安部勝人，榎山和幸：FUJIFILM DR の高画質を支える画像処理技術：Virtual Grid 導入レポート。FUJIFILM Medical A to Z，No. 17. 22，2014
- ・ 伊藤 正博，中 智章：Hybrid Emergency Room 設立にむけた診療放射線技師としての運用効果，日本臨床救急医学会雑誌 Vol. 17 (2014) No. 3，p. 435-439
- ・ 榎山和幸：Exposure Index (EI) の構築に向けて。和歌山県放射線技師学雑誌，No. 7. 70-73，2013.
- ・ 船橋正夫：未来を切り開く FUJIFILM の挑戦～SPECIAL INTERVIEW～。FUJIFILM Medical A to Z，No. 14. 6-8，2013.
- ・ 船橋正夫：FCR は医用画像の世界に何をもたらしたか。月刊インナービジョン，329，4-10，2013.
- ・ 安部勝人，伊藤正博，榎山和幸：最新！救命救急放射線領域のテクニック－胸部の救命救急放射線技術(血管系)。映像情報メディカル，Vol. 45，No. 9，726-729，2013.
- ・ 船橋正夫：乳腺を診る－進化した乳腺画像診断を検証する－，月刊 Rad Fan，11 (9)，2013.
- ・ Yohei Miura, Katsuhiko Ichikawa, Ichiro Fujimura, Takanori Hara, Takashi Hoshino, Shinji Niwa, Masao Funahashi, : Comparative evaluation of image quality among different detector configurations using area detector computed tomography, Radiological Physics and Technology, 2018
- ・ 船橋正夫：Digital Radiography の技術的到達点と今後の動向－散乱線除去技術の概要－，INNERVISION，32：19-23，2017
- ・ 池埜弥生：大阪府における「高次脳機能障がい支援普及」の取り組み。大阪作業療法ジャーナル 27：32-36，2013
- ・ 土岐明子，山中緑，佐藤誠司，北野多重，渡邊学：高齢者の不全頸髄損傷はここまでよくなる，

Journal of Clinical Rehabilitation, 23 : 314-320, 2014

- 岡原聡, 片岡正教, 島雅人, 村田臣徳, 谷村広大, 奥田邦晴 : 完全人工光型植物工場における高齢者や障がい者の就労の可能性に関する研究-立位と坐位作業の上肢・体幹筋の活動量の変化-, 日職災医誌 62 : 388-43, 2014
- 坂本典子, 溝口秀男, 正岡悟 : 補装具費の支給判定業務に際し、ICF を用いて健康関連領域を評価することの有用性について～移動等の機能を補完・代替する補装具において～, : 障がい者自立相談支援センター紀要, 2015
- 塩屋博史、土岐明子、山中緑、渡邊学, : 脊髄損傷受傷後の半年以内に生じている疼痛調査, 日本脊髄障害医学会誌, 29 : 162-163, 2016
- Satoshi Okahara, Masataka Kataoka, Kuniharu Okuda, Masato Shima, Keiko Miyagaki, Hitoshi Ohara, : Muscle activity and mood state during simulated plant factory work in individuals with cervical spinal cord injury, Journal of Physical Therapy Science, 28 : 881-885, 2016
- Masataka Kataoka, Kuniharu Okuda, Masato Shima, Satoshi Okahara, Tsunemi Kataoka, Ryo Yonetsu, Akira Iwata, : Relationship between the duration and trunk inclination and hip angle during car transfer in individuals with tetraplegia, Journal of Physical Therapy Science , 28 : 2452-2456, 2016
- 松浦尚子、土岐明子, : 救命救急における摂食・嚥下へのアプローチ, 総合リハビリテーション, 45 : 617-6 2 2、2017
- 塩屋博史, 西健太, 松田宏樹, 藤見聡, 大谷直寛、: 当センターにおける熊本地震の DMAT・医療救護班での活動と現在の取り組み、大阪作業療法ジャーナル、31、2018
- 村上恵子, 池本恭子, 塩屋博史, 戸松好恵, 木村基, : 熊本地震後の大阪府作業療法士会会員に向けたアンケート調査より, 31, 2018
- 田井ひとみ・大西智之・角谷久美代・金高洋子・藤原富江・久木富美子・樂木正実 : 高次脳機能障害患者に対してブラッシング指導を行った 4 例. 障害者歯科学会雑誌 2014 年